

## IBOR関連のプロジェクト

テーマ	ISDAにおける作業
恒久的停止トリガーに基づくフォールバック条項	新規取引（プロトコルの効力発生日以降に行われる取引）に適用されるフォールバック条項を作成し、定義集を改定。対象となる金利指標は、GBP LIBOR, CHF LIBOR, JPY LIBOR, EUR LIBOR, USD LIBOR, EURIBOR, JPY TIBOR, Euroyen TIBOR, BBSW, CDOR, HIBOR, SOR
恒久的停止トリガーに基づくフォールバック条項を適用するためのプロトコル（注1）（注2）	既存取引（プロトコルの効力発生日以前に行った取引）にフォールバック条項を適用させるためのプロトコルの作成。プロトコルの対象となる基本契約は、①ISDAマスター契約およびCSAのほか、②①以外の基本契約書等（日本語版など）を対象とするかについては検討中。
公表停止前トリガーに基づくフォールバック条項	恒久的停止と公表停止前の二つのトリガーの適用に関する追加の市中協議の実施

（注1）契約当事者の一方または双方がプロトコルに批准しない場合には、恒久的停止トリガーに基づくフォールバック条項を適用するための相対契約が必要。この点、二社間で交渉を行うための契約書ひな形を作成予定。

（注2）プロトコルで合意した内容を追加・修正するためには、プロトコルに批准した当事者間による相対契約が必要。プロトコルの内容を追加・修正するためのひな形文言を作成予定（検討対象とする追加・修正内容例は以下のとおり）。

- ① 合意済みのフォールバック条項がプロトコルにより上書きされること、またはされないこと、の確認
- ② プロトコルが、対象とはならない追加の契約書または取引に適用されること
- ③ プロトコルが、対象となる一部の契約書または取引に適用されないこと
- ④ 公表停止前トリガーが適用となること
- ⑤ キャッシュ商品において規定されるフォールバックが、ヘッジのために行われたデリバティブ取引においても適用されること
- ⑥ 計算代理人の紛争解決プロセス 等

## スケジュール（予定）

内容等	時期（2020年）
恒久的停止トリガーと公表停止前トリガーの契約書上の扱いに関する市中協議（「市中協議」）	2月末頃
市中協議に対するコメント期限	3月末頃
市中協議の結果の公表、および恒久的停止トリガーと公表停止前トリガーの契約書上の扱いに関する決定・公表	4月末～5月初旬
ブルームバーグによるフォールバック・レートの気配値の公表開始	上期中
2006年定義集改訂版および関連するプロトコルの公表	未定
2006年定義集改訂版および関連するプロトコルの発効	公表の3～4か月後